



平成22年8月11日

仏壇で使用するろうソク（灯明）の取扱いにご注意を！

～ 過去5年間で10人が死亡しています ～

仏壇や神棚、祭壇等で使用するろうソク（灯明）は、これから、お盆やお彼岸で使うことが増えます。この灯明による火災は、過去5年間で111件発生しており、当庁では、灯明の取扱いについて注意を呼びかけています。

【ろうソクの主な使用目的】

ろうソクの使用目的を分類すると、大きく3つに分ける事ができます。

1 灯明

仏壇や神棚、祭壇等で使用

2 照明

電気の供給を止められた時の、照明代わりとして使用したり、室内の雰囲気作りのために使用

3 アロマテラピー

火をともしることにより、様々な香りを楽しめ、リラクゼーション効果が得られるとして使用（芳香療法）

【火災発生状況】

1 ろうソクによる火災は、過去5年間で335件発生し、死者10人、負傷者174人と多くの方が受傷しています。また、本年の焼損床面積は、7月31日現在で1,150㎡焼損し、昨年602㎡を上回っています。

2 灯明を不安定な状態で燭台に置き、使用中に灯明が転倒して仏具に着火した火災や、灯明の近くに置かれたお供え物に着火した火災、お供え物をしようと手を伸ばした際に着ている衣類に着火した火災などが発生しています。

【火災を防ぐために】

1 灯明を点灯後、その場を離れた時に出火する事が多いことから、必ず火を消してから離れる必要があります。

2 照明や、アロマテラピーとして使用する際に、燃えやすいものの近くにおいていたため着火したり、燭台等に乗せずに、直接家具やテレビの上に置いて出火する火災が発生しています。ろうソクの大きさに合った専用の燭台や不燃性容器を使用し、その場を離れる時は、必ず火を消してから離れる必要があります。

※ 詳細は、別紙資料を参照してください。

問い合わせ先

（東京消防庁 代） 電話 3212-2111
予防部調査課 内線 5062 5066
広報課報道係 内線 2345～2350

【別紙】

1 ロウソク火災状況（平成17～22年）

出火原因	火災事件数								焼損床面積 (m ²)	焼損表面積 (m ²)	損害額 (千円)	死者	負傷者
	合計	建物					車両	その他					
		小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや							
合計	335	314	14	27	100	173	1	20	3,937	1,351	979,503	10	174
平成17年	75	70	4	10	26	30	-	5	1,020	346	192,073	1	53
平成18年	63	59	2	4	19	34	1	3	628	252	200,142	-	33
平成19年	64	59	2	5	11	41	-	5	729	294	177,054	2	32
平成20年	71	67	2	4	28	33	-	4	958	230	182,083	4	28
平成21年	62	59	4	4	16	35	-	3	602	229	228,151	3	28
平成22年	34	34	5	2	9	18	-	-	1,150	54	185,587	1	17

※1 合計欄の数値は、平成17年から平成21年の合計値です。

※2 平成22年の数値は7月31日現在の速報値で、後日変更される場合があります。

(以下同じ。)

2 ロウソク使用目的別火災状況（平成17～22年）

年別	合計	灯明	照明	アロマテラピー	その他
合計	335	111	102	89	33
平成17年	75	26	30	17	2
平成18年	63	11	16	19	17
平成19年	64	16	21	22	5
平成20年	71	33	19	16	3
平成21年	62	25	16	15	6
平成22年	34	19	5	9	1

【火災事例】

事例1 「灯明が転倒したために出火した火災」

発生場所 荒川区

出火日時 平成20年11月4時ごろ

用途等 共同住宅 耐火造 9/0 延 8,144 m²

被害状況 建物部分焼 1棟、天井及び内壁 11 m²、仏壇 1焼損、負傷者 1人

概要

この火災は、共同住宅の1階居室から出火し、この住戸に一人で居住する高齢者が負傷したものです。

出火原因は、居住者の女性が自宅の居室に置かれた仏壇に線香を供えようと、灯明台にロウソクを立てマッチで火を点けてそのままにしていたところ、灯明が転倒して仏壇の側板に着火し、出火したものです。

上階の居住者が外出時、臭気と付近に漂う煙に気づき、出火住戸から警報音が鳴っていたので火災だと思い、隣室の居住者に火災を知らせて、自分の携帯電話で119番通報しました。

初期消火はありませんでした。

この火災により、認知症で高齢の居住者が、避難が遅れたため負傷しています。

写真1-1 仏壇付近の状況

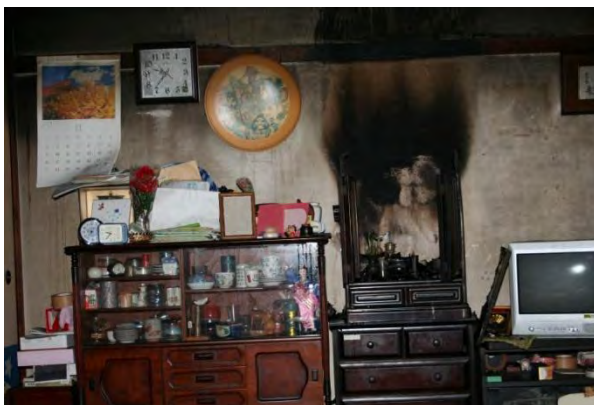


写真1-2 復元した状況



事例2 「アロマキャンドルの炎が拡大しガラス製容器が破損したために出火した火災」

発生場所 港区

出火日時 平成21年6月14時ごろ

用途等 住宅 木造3/0延181㎡

被害状況 建物ぼや1棟、内壁、カーペット等若干

概要

この火災は、住宅の2階居室から出火したものです。

出火原因は、居住者の女性が自宅の居室に置かれたアロマキャンドルにロウソクを点火したところ、通常使用しているアロマキャンドルより大きかったことから、ロウの蒸気が多量に発生し、炎が容器内全面に広がったことにより、ガラス製容器が熱膨張により破損し、カーペットに落下し出火したものです。

居住者が1階居室内にいと、2階から住宅用火災警報器の警報音が聞こえたことから2階を確認し、風呂場のバケツに水を汲み、初期消火を行いました。

通報は、後日消防署へ通報しています。

写真2-1 アロマキャンドルの状況



写真2-2 破損したガラス容器の状況



【資料映像】



ろうソクの脇に可燃物を置いたままその場を放置した状況



時間経過とともにろうソクが短くなり、可燃物に着火した状況



着火した可燃物が燃焼する状況